

第5回 遠山郷学園小学校再編検討委員会全体会議 会議録

開催日時	令和8年7月28日（火） 19時00分～20時25分
開催会場	南信濃地域交流センター 会議室
出席者	委員(敬称略)：宮國 康弘、村山 雅也、吉野 一幸、近藤 史章、遠山 典宏、猪切 洋二、福与 泰安、下郷 貴広、前島 道広、北澤 昌彦、遠山 典男、遠山 尚久、松下 豊、酒井 郁雄 (欠席) 小池 真沙美、熊谷 幸穂、御子柴 さゆり オブザーバー：野牧 和将 上村自治振興センター所長、林 優一郎 南信濃自治振興センター所長 事務局：熊谷 邦千加 教育長、秦野 高彦 教育次長、上沼 昭彦 教育政策課長、伊藤 寿 学校教育課長、松澤 和憲 教育センター所長、木下 耕一 上村小学校教諭、春原 孝 和田小学校教頭、前澤 紀彦 教育政策課長補佐兼教育施設係長、加藤 紀子 学務係長、高梨 永二 学校教育課長補佐兼保健給食係長、福澤 慎吾 学園支援係長兼教育相談係長、井川 真輝 上村公民館主事、小島 滉平 南信濃公民館主事、萩元 謙一 教育企画係長、下岡 祥平 主査、三ツ井 洋樹 主査
配布資料	1 次第 2 配席図 3 委員名簿・事務局名簿 4 第1期 合同生活授業の様子について 5 飯田市立遠山小学校における校歌の制作について 6 小学校の再編にかかる校歌及び校章の制作について 教育委員会への報告 7 校歌制作に向けた取組について 8 飯田市立遠山小学校の校章デザイン(案)の検討 9 飯田市立遠山小学校 校章デザイン デザイン(案) [校名等検討部会資料] 10 第5回校名等検討部会での協議について 11 [検討参考] 校章デザインに対する児童の皆さんの意見 12 飯田市立遠山小学校 校章デザイン デザイン(案)
記録者	事務局 三ツ井 洋樹
事務連絡 (事務局：萩元教育企画係長) 第5回遠山郷学園小学校再編検討委員会の開会に先立ちまして、2点申し上げます。まず、1点目ですが、本会議の成立についてです。本日、小池委員、熊谷委員から欠席の連絡をいただいております。御子柴委員がまだお見えになっておりませんが、現時点で委員総数の半数以上のご出席をいただいておりますので、本会議は成立している旨お伝えいたします。続いて2点目に、会議録公開時の発言者氏名の記載についてです。毎回確認しておりますが、本委員会は公開での開催とさせていただいており、委員名簿、会議資料、会議録は市のウェブサイト公開いたします。会議録の公開にあたっては、出席委員全員の同意が得られた場合に限り、発言した委員の皆さまの氏名を記載することとしています。本日の会議録における発言委員の氏名公開について、同意いただけますでしょうか。 (全委員から同意) 皆さま、ご同意いただけたということで、会議内容の公開にあたっては、発言された委員の氏名も併せて公表することにいたします。よろしくお願いいたします。	

1 開会 （進行：酒井委員長）

皆さま、こんばんは。定刻となりましたので、第5回遠山郷学園小学校再編検討委員会を始めさせていただきます。よろしくお願いします。

はじめに、熊谷教育長からご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

2 教育長あいさつ （熊谷教育長）

皆さま、こんばんは。本日もお仕事終わりのお疲れの中でお集まりいただき誠にありがとうございます。今日は、校章のデザインを制作いただいている寺澤朝子さんにもご同席いただきまして、本当にありがとうございます。

7月もあっという間に終わりを迎えようとしていて、いい大人形劇フェスタ 2026 の開催が近付いているわけですが、こどもたちは夏休みに入り、非常に楽しい毎日を過ごしているのではないかと思います。一方で、保護者の皆さんの立場からすると、毎日の食事のことや宿題のことなど、楽しくも大変な日々をお過ごしではないかと想像しております。

上村地区、南信濃地区では、公民館で「自磨の時間」として、様々な体験メニューを用意され、こどもたちが地域で楽しめる内容を毎年工夫していただいていると伺っております。まさに、この地域ならではの内容であり、こどもたちのためにという思いで地域の皆さんが企画・実施され、尽力されていることに改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、今月中旬まで、上村小学校と和田小学校の児童が数週間一緒に生活をしながら授業を行うという合同生活授業の第1期を終えました。後ほど、校長先生方から報告がありますが、話をお聞きしたところによると、やはり児童は緊張しながら取り組み、先生方も緊張しながら授業準備をしたということで、いい意味で緊張感のある期間を過ごしたとお聞きしましたが、一方で和気あいあいと取り組むこともできたともお聞きして、大変嬉しく感じたところです。和田小学校の児童は、新しい場所での学校生活、新しい先生にも教わるといった場面があり、上村小学校の児童ももちろん新しい先生に教わることもあるわけですが、頭も心も働かせて、刺激があり、とても貴重な時間だったのではないかと思います。今後、社会に出ていく上でも、このような体験は大事ではないかと思っています。

また、遠山小学校の開校に向かって、校歌や校章について一緒に考えていくこと、一緒につくっていくことの過程は、とても大事な過程で、良い経験だと感じています。今回、新たな校歌と校章の制作に関わるこどもたちの取組の様子をお聞きいただきながら、校章についてご協議いただきたいと思います。本日の協議も含めた一連の取組こそ、遠山小学校の未来を創っていく機会ではないかと思っておりますので、忌憚のないご意見をいただきながら、良い協議の場になりますことを願っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 委員長あいさつ （酒井委員長）

それでは、私からも一言ご挨拶申し上げます。7月は暑い日が続き、大変な気象条件の中で、皆さん毎日それぞれお仕事されていると思います。今日は、久しぶりに道路が濡れるような雨が降り、農家の皆さんや家庭菜園をやっている皆さんは、嬉しい雨だったのではないかと思います。今日は、お仕事を終えてからの会議でご出席いただきましてありがとうございます。

ただいま、熊谷教育長からもお話がありましたが、遠山郷では昨日から夏休みの子ども見守り事業「自磨の時間」がスタートしております。今回も他県の親子が、「やまぎと親子留学」の制度を活用し、短期間ではありますが遠山郷での暮らしを楽しんでいます。もうかれこれ

2、3年くらい続けて「自磨の時間」に参加してくれています。そのように県外の方も参加しているため、こどもたちにとっては少し刺激のある交流ができていると拝見しています。

来年4月の新しい小学校の開校に向けて、当委員会では、今回で5回目の全体会議となりますが、一步一步、みんなで検討しながら前に進めていきたいと思います。

また、6月30日から7月15日までの間で合同生活授業を実施いただきました。教育委員会には通学手段の確保にご苦労いただき、学校の先生方には、初めての取組に対し、相当な調整や児童への対応等、悩みながら取り組んでいただいたのではないかと思います。改めて感謝いたします。今回の合同生活授業を通じて見えた課題については整理いただき、次回の合同生活授業、さらには来年4月のスタートに良い形で進められるようお願いしたいと思います。

本日の会議は、主に校章デザインについて検討いたします。ぜひ、慎重にご審議いただき、活発なご意見をいただきながら本会議を進めていけますようお願いし、挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

4 報告事項

(1) 第1期 合同生活授業の様子について

酒井委員長 それでは次第に基づきまして、「4 報告事項」に移って参ります。まず、「(1)第1期合同生活授業の様子について」、猪切校務等調整部会長から報告をお願いします。

猪切副委員長 皆さん、こんばんは。それでは資料No.3をご覧ください。この資料の「あゆみ」は、上村小学校の中核教員である木下教諭が、丁寧な通信をつくり、地域や保護者の皆さまに情報を随時お伝えしているものです。

まずは合同生活授業の初日ですが、和田小のこどもたちが乗ったスクールバスが到着して、本当に緊張した面持ちでバスを降り、自分たちで昇降口前に整列し待機していました。それからどうすればいいかわからないという戸惑った様子で校舎内に入ってきました。教室に入っても緊張した面持ちでいて、和田小のこどもたちからすると、一つ一つのことが緊張の連続だったのだろうと思います。

初日の全校集会では、児童会から合同生活授業期間のスローガンを発表しました。スローガンは「知り合いから仲間へ～いっしょに遊ぼう いっしょに学ぼう～」です。サブタイトルの中で「学ぼう」よりも「遊ぼう」が先に来ていることが良いと思います。資料の中の写真にありますが、休み時間のドッジボールで徐々に打ち解けることができてきました。上村小と和田小のやり方が違っていたことに対し、それぞれの学校のスタイルを色々と試しながら取り組む姿があって、面白いなと思ってみていました。ただ、人数が多過ぎて、大丈夫かなと思いながらみていましたが、二週間の合同生活授業の中で、ドッジボールをやったり、卓球をやったり、図書館へ行って本を読んだり、徐々に自分たちの遊ぶスタイル、遊び仲間をこどもたちなりに選択しながら、本当に遊びを通して仲良くなっていた様子がみられました。

授業の様子でいきますと、クラスの人数が増えて楽しかったという感想がたくさんありました。特に4年生は一人ずつですので、今までもオンライン授業をやっていましたが、やはり目の前にいる状況で授業をするのは全然違うと改めて感じました。二人でも色々と話し合いながら学ぶことができて、とても良い時間だったと思います。5、6年生になると、両校で勉強の仕方が少し違うという感想が出てきていました。先生同士でも情報を共有しながら、グループで話し合ったり、考える時間をとったりなど、色々と考えて授業を組み立てていきました。

日が経つにつれ、本当に和気あいあいとなっていきて、前からずっと一緒にいたような空気感もあって、こどもたちは心配するよりも対応が早く、楽しく生活している様子でした。

一方で、少し集団での生活が難しかったか、慣れない場所での学校生活で、その変化に戸惑いを感じた児童がいて、別室で対応したケースもありました。今後もそういったケースでは、こどもの思いを大事にしながら対応を考えていければと思います。そのように、合同生活授業があったからこそ見えてきたこどもたちの姿もありました。上村小の児童の中には、慣れた場所でもありますので、やはり自分たちが少しリードしてあげようという気持ちもみられ、いつも以上にたくましさを感じた場面もあり、お互いに刺激のある合同生活授業期間となりました。資料の写真にもありますが、給食の時間も賑やかで楽しく食えることができました。

児童の表情も見てもらいたいと思いますので、本日、資料別紙を用意しました。2枚目から1年生の姿がありますが、本当にかわいらしさがあって、一緒になって本当に楽しんだ様子でした。合同生活授業終了後に天龍小も含めた3小学校でプール遊びをするために一緒に船も作りました。これまでだと、それぞれの学校で人数も限られた中で作業することになってしまいましたが、やはりこれだけの人数でワイワイしながら作っていく姿は、とても微笑ましく感じました。最後は高学年の授業の様子になります。先ほども言いましたが、これまでとは違う学び方で戸惑う児童もいたようですが、感想では、「こういう勉強の仕方もあることがわかった」や「みんなで意見を出し合い、友達が教えてくれてうれしかった」、「算数がわかるようになった」など、職員も含めて、新しい学び方、新しい学校生活に慣れていった期間になりました。

先ほど「あゆみ」の資料に戻っていただきまして、合同生活授業のまとめの会の紹介です。児童の振り返りの言葉を掲載してあります。「友達の名前を覚えてうれしかった」、「船を作って楽しかった」、「みんなでおたまじゃくしを捕まえて楽しかった」という1、2年生の声です。学年が上がると、「算数の時、友達が教えてくれたのがうれしかった」、「私の目標はたくさん遊んだり学んだりしたいと思い、一緒に遊べて楽しかったしうれしかった。次は、別の学年の友達とも仲良くなれるように、全校の友達の名前を覚えたい」というように、次回はこうしたいというような言葉がいくつも出ていまして、第1期の合同生活授業期間を通じて、こどもたちは本当に楽しかったという思いを持つことができたのかと思います。そして、次はこうしたいという思いも持ちながら終えることもできたと思います。

保護者の皆様にもご理解とご協力をいただきながら、児童は、毎日の生活を楽しく過ごせたと思います。

また、現在、保護者アンケートや職員アンケートを実施しており、これから職員会等で振り返りを行い、次に向けての準備を進めていきたいと考えております。報告は以上です。

酒井委員長 猪切部会長から報告をいただきました。ありがとうございました。合同生活授業期間内に授業参観の機会を設けていただきました。私も参観させていただきましたが、これまでの和田小学校単独の授業参観と比べると、やはり児童数も増えて、賑やかさや楽しそうな声も多く聞こえてきて、良い雰囲気を感じました。今回の第1期合同生活授業期間において、児童の皆さんはもちろん、保護者の皆さん、先生方等、関係される皆さんにとって初めての経験であり、特に児童と先生方は大きな環境の変化への対応で非常にご苦労があったと思います。本当にご苦労様でした。今後、児童、保護者、先生方の感想等をもとに、丁寧な振り返りを行い、来年4月の完全再編に生かしていただきたいと思います。

この件に関しましては、報告事項ですので次に進めさせていただきます。

(2) 飯田市立遠山小学校の校歌制作の進捗状況について

酒井委員長 続いて、飯田市立遠山小学校の校歌制作の進捗状況について、校名等検討部会から報告します。資料No.4-1をご覧ください、要点のみを報告させていただきます。

まず校歌の制作に関するこれまでの経過につきましては、第3回校名等検討部会で校歌の制作方法について協議し、第3回再編検討委員会全体会議では口頭による報告をさせていただきました。第4回校名等検討部会では、委託先の候補者について意見交換し、第4回再編検討委員会全体会議では委託先(案)、概要(案)やスケジュール(案)について協議し、委員会として決定いたしました。これを受けて、資料No.4-2にあるとおり、再編検討委員会から飯田市教育委員会へ報告させていただき、飯田市教育委員会は、令和8年5月12日に葭本直樹先生と契約書を締結し制作作業がスタートしました。令和8年5月21日以降、葭本先生と両小学校の児童等との校歌制作に向けた授業等を進めていただいています。学校での活動内容については、猪切学園長から説明をお願いしたいと思います。

猪切副委員長 それでは資料No.4-3をご覧ください。「あゆみ」の4、6、7号に分かりやすくまとめてありますが、最初に両校それぞれ地域の方から現在の校歌に対する思い出等を語っていただきました。和田小は酒井郁雄さん、上村小は山崎紀男さんと野牧所長さんにお話いただきました。上村小のことになりますが、現在の校歌が作られた頃に児童として在籍されていた山崎さんから、当時のお話をお聞きして、校歌の歴史や地域の人たちが大事にしている思いに触れて学習が始まりました。現在の校歌の好きなところも挙げながら、新しい校歌に向けて、「どんな校歌にしたいか」を各クラスで考え、多くの意見がそれぞれ出されました。「自分たちでも考えるけれど、みんなの言葉や思いが入った校歌にしたい」という意見もあり、家で保護者の方に付箋に書いてもらったり、課外活動で出会った地域の方にも聞いたり、参観日等で訪れた方々にも付箋に書いていただいて、「どんな校歌にしたいか、どんな言葉を入れたいか」について、多くの意見や言葉が集まりました。現在の校歌の引き継いでいきたいところや新たに入れたい言葉等があり、面白かったのは「ジンギス」を入れたいと書いた児童もいました。これだけのキーワード等が出ると、葭本先生も悩んでしまうのではないかと思いますでしたが、木下先生が竜東中学校へ行き、葭本先生に校歌の取組や付箋を渡したところ、大変喜ばれ、「児童や地域の方々の思いが伝わりました。これから思いを込めて制作を頑張りたいです。」と力強くおっしゃってくれたようです。以上のとおり、たくさんの思いや言葉を葭本先生にお届けでき、今、葭本先生が制作に取り掛かっていただいているところであります。学校での取組内容についての報告は以上です。

酒井委員長 ありがとうございます。それでは引き続き、資料No.4-2の裏面をご覧ください。校歌制作における今後の進め方について報告いたします。

校歌につきましては、9月を目途に詞の制作を進めていただいているところです。その後、11月を目途に作曲を進めていただき、12月には校歌を試聴させていただいた上で最終調整し、完成となります。そして、来年1月から3月には、歌唱指導をしていただき、令和9年4月の開校式・入学式にはお披露目ができるように進めていく予定であります。

ただいま、校歌制作の進捗状況について報告させていただきましたが、猪切学園長から説明がありましたとおり、児童、保護者、卒業生、地域の方等、多くの方から思いや言葉を集めていただいたものを校歌制作者である葭本先生にお渡しして、現在は葭本先生が鋭意、制作作業中という状況を確認いたしました。また、葭本先生からは、9月上旬頃に児童の皆さんと意見

交換をする機会を設ける予定であるというスケジュール感も示されています。それぞれに進捗をご確認いただければと思います。この件につきましても報告事項ということで聞きおくこととして、次に進みたいと思います。

5 協議事項

(1) 飯田市立遠山小学校の校章デザイン(案)の検討

酒井委員長 それでは本日の協議事項に入ってまいります。「(1) 飯田市立遠山小学校の校章デザイン(案)の検討」について、本日は、ただいま進捗のご報告をした校歌と合わせて、校名等検討部会で検討を進めている校章について協議を行います。本日は、校章デザイン制作業務を受けてくださっている寺澤朝子さんにご出席いただいておりますので、はじめに紹介をいただきます。事務局から、寺澤さんの紹介をお願いします。

上沼教育政策課長 それでは寺澤さんをご紹介します。寺澤朝子さんは、飯田市内在住で、市内のデザイン事務所「ACP+DESIGN」を経営されておられるアートディレクター、グラフィックデザイナーでございます。2007年に事務所を開設して以来、ロゴのデザインを始め、ホームページ、看板、パンフレット等、幅広く手掛けていらっしゃる。飯田駅前のムトスぷらざや飯田焼肉のロゴデザイン、また、鼎地区のホームページ等を制作されています。依頼者との交渉、デザイン制作、サポートまでの流れをお一人で担当されていて、依頼者とともにつくるというスタンスを大切にしながら、思いや魅力を形にしています。この度も私たちの依頼に基づきまして、校章のデザインを3パターン、真ん中に入れる文字を4種類、計12種類のデザインを制作いただいております。本日、ご多忙の中、当委員会に参加いただきまして、デザイン制作意図について説明をいただきます。よろしくお願いいたします。

酒井委員長 ありがとうございます。本日は、事前通知にも記載しましたが、校名等検討部会の検討状況の報告をさせていただいた後、寺澤さんからデザインに対する制作意図等をご説明いただき、最終的には、飯田市教育委員会へ報告できるよう、再編検討委員会の総意として、校章デザイン(案)を1つに絞り込みたいと思います。

まずは、校名等検討部会での検討の状況を、部会長として私からご報告いたします。資料No.5-1をご覧ください。第3回校名等検討部会では、校章の制作方法について協議をしております。これを受けて、第3回再編検討委員会全体会議では、口頭による報告のみをさせていただいたところです。第4回校名等検討部会では、校章制作の方向性、制作方法やスケジュールの確認、それから委託先の候補者について意見交換し、第4回再編検討委員会全体会議では、委託先の案、概要スケジュール案について協議し、本委員会として決定しました。これを受けて、資料No.4-2のとおり、令和8年4月27日に飯田市教育委員会へ報告をしております。その後、飯田市教育委員会で決定をされて、令和8年5月12日に寺澤さんと契約書を締結して制作がスタートしたところでございます。なお、令和8年5月20日には、寺澤さんが両小学校を訪問し、授業の様子を見学されたと聞いております。続いて、第5回校名等検討部会では、寺澤さんから各デザインの制作意図等をご説明いただき、委員全員で意見交換をしました。寺澤さんからの提案されたデザインについては、資料No.5-2のように、色々な角度から考案、制作されたものでしたが、部会としては、3つのデザインから、資料No.6のとおり、2つを選定して、中に入れる文字については、4種類すべてを本日の全体会議へ提案することとしました。

改めて、部会での協議内容、経過について、事前配付しました資料No.5－3をご覧くださいと思います。資料4、5ページをご覧くださいますと、委員全員の方から最も適していると思うデザインをピンク色の付箋に、その次に適していると思うデザインを青色の付箋にそれぞれ理由を記入して、選定における意見交換をしました。デザイン案の選定の結論については、デザイン案①とデザイン案③の票数に大きな差はないが、デザイン案①については「最も適していると思うデザイン」として挙げた委員が一人もいないため、デザイン案②とデザイン案③を当委員会全体会議へ提案することとしました。

主な意見としまして、デザイン案②は、遠山小学校の強みである「柔軟性」「多様性」がデザインで的確に表現されていることやお茶としゃくなげ、山のモチーフが地域の良さを表現していてわかりやすい等が挙げられました。また、左右対象ではないデザインの斬新さが、「独自性」や「個性」を表現しており、目に留まるデザインではないか、そして、「多様性」「個性」が一つ一つの大きさや形に表されていることが良いという意見がありました。

デザイン案③の主な意見としましては、デザインのテーマである「広がり」のイメージが未来に向けた可能性を感じさせるといった意見、5枚の葉のデザインが旧5村を表しており、新旧の融合を感じることができるということ、遠山郷の新緑のイメージとイエローグリーンの色がマッチしていること、制作意図にある「無限の未来」という言葉に共感するといった意見がありました。

そして、真ん中に入る文字については、結論としては、校名等検討部会でも様々な意見があり、当委員会全体会議で意見を聞いた方がよいという意見から、それぞれ4種類を今回提案させていただいたところでございます。主な意見としましては、これまでの協議・検討の中で、まずは再編後の小学校の校歌・校章を制作し、その後に、学園歌・学園章の制作を検討するという方向が確認されているため、今回は小学校の再編に係る校章の検討であり、「小」か「遠小」という文字のどちらかを選ぶべきではないかという意見、また、「遠」は学園章に使うイメージであり、遠山小学校の校章の文字は「小」が良いのではないかということ、さらに、校章を小さなサイズで使う場面では、「遠小」の場合、文字が潰れてしまう心配もあるため一文字の方が良いのではないかといった意見が挙げられました。他にも、様々な校章を見ると、「小」を使っていない学校もあり、「遠」という文字を入れれば、遠山小学校の校章と認識しやすいのではないかという意見、デザイン②であれば、真ん中に文字を入れないものも良いのではないかという意見も挙げられました。そういったことで、特に文字については、本日、ご意見をいただきたいところでございます。

以上、校名等検討部会での協議についてご説明いたしました。また、学校から、児童の意見を聞いて参考にしてはどうかという意見がありましたので、児童の意見やその時の様子について本委員会で伺いたいと思いますので、猪切学園長から説明をお願いします。

猪切副委員長 それでは報告させていただきます。校章については、再編検討委員会の中で決定するという方向で進めていたことは承知しておりましたが、寺澤さんから提案されたデザインが3つとも本当に素敵でしたので、ぜひ、児童にも見せて、どう感じるのか反応も見てみたいと思い、令和8年7月9日の校名等検討部会において提案させていただきました。校名等検討部会で承認いただき、資料No.5－4にありますとおり、児童に寺澤さんを紹介したり、校章のデザイン案を紹介するという対応をさせていただきました。結果から言いますと、とても良かったと思います。オンラインで寺澤さんとお話しながら、校章デザイン案のそれぞれに込めた思い等をこどもたちにもわかりやすく伝えていただいて、一つに決められない児童もいま

したが、最終的には資料の写真にありますとおり、自分が気に入ったところやいいなと思ったところを付箋に書いて貼ってもらいました。上村小と和田小は別日に実施しましたが、割と似たような結果になっているかと思います。上村小の様子になりますが、しゃくなげの葉とお茶の葉の葉脈の本数が違うこと、色合いが違っている等、寺澤さんに質問していました。こどもはそういったところに気が付くのかと思いながら見ていましたが、寺澤さんから色の濃淡による雰囲気の出し方やテーマへの思いを伝えていただき、また一つ一つのデザインの良さを知ることができました。児童の意見等については、資料にあるとおりですので、あくまでも検討の参考として見ていただければと思います、本日資料を用意いたしました。報告は以上です。よろしくお願いします。

酒井委員長 ありがとうございます。それでは引き続き、資料No.5－1の裏面をご覧ください、校章の制作に向けた今後の進め方について説明させていただきます。本日の全体会議で決定をいただきまして、飯田市教育委員会へ報告をいたします。9月頃には第6回校名等検討部会の開催を予定しておりますが、教育委員会では、校旗や校章の作製を進め、来年4月の開校式・入学式には、お披露目ができるように準備を進めていくという予定でございます。

前回の校名等検討部会での協議経過及び校章デザイン案に対する児童の皆さんの意見等について説明させていただきました。ここまでのところで質問や確認したい事項があればご発言いただければと思います。

(発言等なし)

それでは、具体的な協議に入ってまいります。校名等検討部会から提案された8つの案の中から、最終案1案に絞り込むに際しまして、2つのデザインについて、校章のデザインを制作いただいた寺澤朝子さんから、そのデザインを作成する際のテーマ、大切にしたい点を直接ご説明いただければと思います。よろしくお願いします。

寺澤朝子 氏 飯田でデザイン会社をしております寺澤と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。デザイン案と制作意図について説明させていただきますので、資料No.6をご覧ください。

一つ目のデザイン案につきまして、こちらは「独自性」、「多様性」、「柔軟」、「個性」をテーマとしております。これまでの校章と言うと左右対称であったり、どちらかと言えば少し硬いイメージのものが一般的と思われますが、これまでの硬いイメージを一旦崩して、柔らかく、温かく、親しみやすさを感じられるモチーフとして制作したのがA案となります。5月に実際に両校を訪れた際、こどもたちの様子を見させていただいたところ、個性があったり、様々な地域から通学している児童がいるということもあり、感覚的に表現させていただいたデザインとなります。花や葉の大きさが一つ一つ違うモチーフは、こども一人一人の個性を表現したものとなっています。色合いにつきましては、お茶の花と葉、しゃくなげの花と葉は、実際のものに近い色合いにしました。また、実際に訪問した中で、山が印象に残っていて、一般的に校章の中には花や葉はありますが、山が入っている校章はなかなかありませんので、独自性があって良いと思い、訪れて感じたままの山を入れさせていただきました。とても緑が綺麗でしたので、明るめのグリーンを付けました。

続いて、二つ目のデザイン案です。こちらは現在の両校の校章のモチーフを使いながら、並べ方、組み合わせ方等を変更させていただき、愛着のある校章を完全に無くしてしまうのではなく、大切にしたいものを残しつつ、新たなモチーフとして生まれ変わらせたデザイン案でご

ざいます。葉の並べ方は、旧5村を意識して5枚ずつ並べ表現しました。放射状に並ぶレイアウトにすることで、広がりや星のような輝きを表現しまして、こどもたちにとって無限の未来が描けるように、また、キラキラとした期待感や希望を込めたデザインとなっています。色合いにつきましては、A案よりも明るめのイエローグリーンを使っていて、新緑の爽やかなイメージを表現しております。

簡単ではございますが、以上、デザイン2案の説明となります。よろしくお願いいたします。

酒井委員長 寺澤さん、ありがとうございます。ただいま、寺澤さんから2つのデザインについて、制作意図も含めてご説明いただきました。ここからは、具体的に校章デザイン案を1つに絞り込んでいきたいと思えます。事前に、事務局から「第5回校名等検討部会での協議について」と「校章デザイン(案)」を各委員の皆様へ送付してもらいましたので、それぞれご意見があると思えます。校名等検討部会から示された8つの校章デザインは、デザイン2種類と中の文字の部分の取り扱いが4通りで、計8種類となっています。まずは、2種類のデザインから1種類に絞ることを第一にしたいと思います。校名等検討部会での協議では、先ほどの説明のとおりですので、まずは、校名等検討部会以外の委員の皆さんからご意見をいただければと思います。ご意見については、デザインAまたはデザインBのどちらかを選択いただき、その理由も含めてご発言ください。どなたかいかがでしょうか。

松下副委員長 私はA案が好ましいと思えます。しゃくなげの花と葉、お茶の花と葉が入っていて、花が入っているとその花が咲く季節も思い出すことができるため良いと思えます。また、山々の地で生まれ育っている私からすると、山が入っていることは嬉しく感じました。他所へ行った時にも山を見ると安心するので、A案が好ましいと思えました。

宮國委員 私もA案が良いと思えました。しゃくなげの花と葉、お茶の花と葉が入っていて、両校の良さが引き継がれていきつつ、新しさのあるデザインでもあってとても良いと感じました。また、山も入っていることが遠山らしさになって、A案が良いと思えました。

色合いの話ですが、好みにはなりますが、イエローグリーンが入ったデザインだとどうなるのかと思い、見てみたいということを思いました。以上です。

北藤委員 私も、山とお茶としゃくなげが入ったA案が良いと思えました。今までの校章は硬い感じがしましたが、A案は見た目も華やかで柔らかなイメージで非常に良いと思えました。児童の意見もA案が多いので、よりA案が良いと思えます。

福与委員 私も、山とお茶としゃくなげが入っているためA案が良いと思えます。また、シンメトリーではないということが遠山の多様性や柔軟性のコンセプトにあって、これから先の遠山小学校の魅力になっていくと思えますので、A案が良いと思えました。

北澤委員 私は、B案を推薦します。資料を見た時に、放射状の光が目に入ってきて、印象深いと思いB案が良いと思えました。もう一つの案は、山が入っていることで、いくつも山があるので、できれば山が入らないデザインが良いなと思えました。

遠山(尚)委員 私はA案が良いと思えます。デザインAは山並みを正面に置いていただいたので、色々な感じ方ができると思えます。南アルプスであったり、身近な山々であったりという中で、遠山地区は昔から山と一緒に生活をしていたので、こちらが良いと思えました。また、両地区の代表的なものとして、しゃくなげの花と葉、お茶の花と葉を入れていただいたので、

両地区がこれからの未来に向けて団結力を表して進んでいくということを感じました。さらにもう一つは、デザインが斬新であるということで、A案が良いと感じました。

酒井委員長 ありがとうございます。校名等検討部会の委員ではない全員の皆さんからの意見をお聞きしました。先日の校名等検討部会でも意見交換をしましたが、ただいまの意見を聞いて、さらにご意見がありましたらお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。

遠山典宏委員 前回の部会や今の委員の皆さんの意見を聞く中では、A案が良いと個人的に思っているところです。理由としては皆さんが言われたとおり、上村、南信濃の共通する点で山々のあることや「多様性」、「柔軟性」をモチーフにしたというテーマも共感できます。もう一つは、前回の校名等検討部会でも出されていた意見ですが、こどもたちが校章を見た時に、花が目立ったり、山があったり、お茶の葉やしゃくなげの花であったりが目で見えてすぐわかることは良いと思いました。こどもたちにとって、自分たちの学校の特徴や大事にしているものが何かということが、すぐわかるというようなデザインは非常に良いと思うので、A案が良いと私は思っています。

村山委員 私も最初からA案が良いと思っていましたので、A案をお願いします。

吉野委員 私もA案が良いと思います。こどもたちの意見を見ると、この校章デザインに感じるものがあって、これだけ多くの意見が出ていると思いますので、ぜひA案にしていきたいと思います。

酒井委員長 ほとんどの方がA案という意見となっております。まだご意見出していない方や加えてご意見ある方がいらっしゃいましたらどうぞ。いかがでしょうか。

(発言等なし)

よろしいでしょうか。それでは、校名等検討部会及び本日の全体会議で出された意見を踏まえて、さらには児童の皆さんの意見を参考にして、校章デザインについては、A案が良いという意見が多い状況です。どちらのデザインも非常に良いのですが、一つに決めなくてはなりませんので難しい判断だと思います。そのため、皆さんに改めてお諮りいたします。校章のデザインについては、A案でよろしいでしょうか。

(異議なし)

皆様、異議なしと認め、校章デザインは全会一致でA案とし進めさせていただきます。

それでは続いて、中の文字について協議いたします。校名等検討部会では先ほど説明のとおり、「遠」は学園章にとっておくべきであったり、小学校の校章のため「小」が良いのではないかという意見であったり、「遠小」も良い、斬新だが文字無しも良いのではないかと、様々な意見が出され、本日の再編検討委員会全体会議で皆さんの意見を聞いて判断するという結果でございました。それでは、また校名等検討部会ではない委員の方々から意見をお聞きしたいと思います。それではご発言をお願いします。

遠山(尚)委員 現在の両校の校章は「小」が入っていますので、それを引き継いで「小」を入れていただければ良いと感じます。

北澤委員 私も、「小」が良いかと思います。

福与委員 私は、「遠小」が良いと思います。遠山中学校を「遠中」と呼称している方が多く、遠山小学校が開校したら「遠小」と呼ぶのではないかと思い、わかりやすいかというところで「遠小」が良いと思いました。

近藤委員 どちらも良くて2つ挙げさせていただきます。一つ目は「小」です。小学校ということで分かりやすいのが理由です。二つ目は、文字無しです。これもとてもきれいなデザインになって良いと思いました。どちらかを選びきれない状況です。以上です。

宮國委員 悩ましいですが、「遠小」です。「小」もシンプルで良いのですが、「遠小」の方が遠山小学校ということがわかりやすいと思い、良いと感じたのが理由です。以上です。

松下副委員長 私は、「小」が良いです。やはり「遠」や「遠小」だと画数が多すぎて分かりづらくなってしまい、文字無しでは校章かどうかということになるので、「小」の一文字が良いと思います。

酒井委員長 校名等検討部会においても、「遠小」とした場合に、学校便り等で校章を小さくして使用すると、多少、不鮮明になる可能性があるという心配の意見も出ていました。

それでは、校名等検討部会の委員の方々にも意見をお聞きしたいと思います。

遠山典男委員 校名等検討部会でも発言しましたが、「遠」は学園章として使用できればと思い、今回は使用を避けたいという考えがあり、「小」が一文字で見やすくわかりやすいので、また、遠山中学校の校章が「中」の文字を使っているため、「小」が良いと思いました。また、文字無しに関しては、デザインとしては非常に良いのですが、校章という意味合いからすると、デザインだけというよりは「小」が入った校章が良いと思いました。

前島委員 私も、遠山典男委員と同様の考えでございます。

下郷委員 私も、「小」が良いと思います。最初は「遠小」が良いと思いますが、小さくした際に字面が小さくなって見えにくくなる可能性もあるということであれば、一文字の「小」で表した方が良いと思っております。

吉野委員 私は、「遠小」が良いと思います。遠山小学校とわかりやすいと思います。小さくしても、1、2cm程度であれば十分認識できますので、小さくして不鮮明になるということは心配ないのではと思います。やはり、新しい学校として遠山小学校になるため、より馴染みやすくわかりやすい「遠小」でお願いしたいと思います。

村山委員 とても斬新で他にはないデザインを考えていただいたので、この校章デザインを見れば遠山小学校であるとわかり、他に似たものが無いデザインになっていますので、真ん中の文字が無いものを推したいと思います。しかし、どうしても文字を入れるということであれば、「小」が良いと思います。理由としては、「遠」は学園章で使用する、「遠小」は小さくした際に文字が潰れてしまう心配があるということで、もし文字を入れるなら、「小」が良いかと思います。

遠山典宏委員 どの文字も捨てがたい部分はありますが、皆さんの意見を聞いた上で、私も「小」が良いと思います。最も気にしているのは、「遠小」で小さくしても大丈夫であろうという意見もありましたが、やはり小さいと見づらさはあると思いますので、シンプルな一文字が良いと思ったことと、文字無しは、デザインとしてとても綺麗ですが、校章とした時には、やはり文字が入っていた方がいいという考えで、「小」が良いかと思います。以上です。

猪切副委員長 私は文字無しが良いと思います。こどもたちの意見と同じで、花がかわいらしくて素敵だということが理由です。ただ、ご意見を聞いていく中で、校章なので文字があった方が良いという意見も、なるほどと思います。以上です。

酒井委員長 ありがとうございます。これは、多数決で決めるというわけではございませんが、皆さんのご意見をお聞きすると、「小」が多いというところだと思います。それぞれ皆さんの意見を聞いた上で、追加でご発言があればお願いしたいのですが、いかがでしょうか。

宮國委員 皆さんのご意見をお聞きするまでは、「遠小」が良いと思っていたのですが、全体のバランスを考えた時に、遠山中学校は「中」であるので、「小」はありだと思いました。ここで一つ質問になりますが、学園章という話題が出ておりましたが、具体的にどのような位置付けののでしょうか。これは、遠山小学校の校章を制作した後に、学園全体の校章デザインを作るということでしょうか。

酒井委員長 校名等検討部会で、この機会に学園歌・学園章としてはどうかという意見が出されて、遠山郷学園としての学園歌・学園章という話題が少し出てきたのですが、当再編検討委員会は、小学校の再編を検討することとなっておりますので、遠山中学校を含めた学園全体の話については別の組織や機会を検討すべきであるとして整理しています。現時点で、学園歌・学園章を作るかどうかの結論も出ていませんが、今後、必要があれば別組織で検討をしていくということで確認しております。

宮國委員 わかりました。学園章を想定して「遠」を残しておくという意向があるのであれば、全体の配置やバランスを考えて、「小」の一文字にするということが、今後の可能性も含めて良いのかなと、皆さんの意見を聞いて思いました。

酒井委員長 ありがとうございます。本日の協議事項では、最終的に1つにまとめることが命題となってございます。皆さんのご意見をお聞きする中では、様々な意見がございましたが、「小」が最も多かったように感じました。それぞれの校章が実物でどのようなものになるのかをイメージして、選ぶことは難しいことではございますが、先ほども申しましたとおり、本日、本委員会として1つに絞り込む責任と役目がございます。

以上のことから、皆様にお諮りしたいと思います。校章の中に入れる文字を「小」とすることではいかがでしょうか。

(異議なし)

はい、ありがとうございます。どれか1つにするという際に、様々な思いや意見があるとは思いますが、校章の中の文字は「小」とすることで、全会一致で決定をさせていただきたいと思います。ありがとうございます。よろしくお願いします。

それでは、ここまでの協議結果をまとめて、改めてここでお諮りいたします。本日の協議・検討の結果を踏まえ、遠山郷学園飯田市立遠山小学校の校章デザイン案については、資料No.6の5ページの①であります、デザインA案の「小」ということで、飯田市教育委員会へ報告することにご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございました。全会一致ということで確認いただきました。なお、飯田市教育委員会への報告の文書等については、正副委員長に一任いただき、文書ができ次第、可能な限り早くに飯田市教育委員会へ報告したいと思います。よろしくお願いします。

(2) その他

酒井委員長 予定した議事は以上となりますが、その他、皆さまから何かありますでしょうか。

宮國委員 校章デザインが決定し、例えばTシャツを作りたい等でデザインを使いたいという可能性が出てくると思いますが、その際のデータの取り扱いはどうなりますか。ホームページ上のデータをダウンロードするのか、学校に問い合わせをするのか等、手続きが決まっていれば教えてください。

事務局 萩元教育企画係長 校章制作者の寺澤さんとのお約束の中では、デザイン案のうち、決定したもの一つに限って、飯田市にその権利を譲渡いただくという形で契約をさせていただいております。ただし、譲渡いただいた校章デザインの形を変えたり、色を変えたりということについては、基本はしないということをお大前提にした上で、寺澤さんと契約をさせていただいております。校章デザインが決定後、データをいただくことができますので、そのデータをお使いいただくこととなります。なお、例えば校章デザインの下に遠山小学校と入れて使いたいといった場合には、飯田市にご確認いただき、許可されれば基本的には使えますので、決定後にご活用いただければと思います。

酒井委員長 ありがとうございました。その他はいかがでしょうか。特に無いようであれば、次に進みます。

6 その他

萩元教育企画係長 事務局から、3点ご連絡いたします。まず、1点目、今後の予定でございます。次第の裏面をご覧ください。最初に各検討部会ですが、先般、第1期の合同生活授業が終了しておりますので、その振り返りを行うため、第4回通学等検討部会と第3回校務等調整部会の合同部会を令和8年8月20日(木)19時から上村公民館で開催いたします。部会の委員の皆様には、本日、机上に開催通知を置かせていただきましたのでご確認ください。また、先ほど校歌制作についてご報告がありましたが、校歌の歌詞について協議するため、第6回校名等検討部会を令和8年9月中旬頃予定したいと思います。詳細は、正副部会長と協議させていただき、委員の皆様には、改めて、ご通知いたします。なお、全ての検討部会に共通してですが、完全再編に向けて準備を進める中で、検討部会で協議する事項が発生した際は、正副部会長と相談をさせていただき、改めて、検討部会の皆様にご通知いたしますので、よろしくお願いいたします。続いて、第6回の再編検討委員会全体会議は、校歌の作詞・作曲が進んで姿が見えてくる11月下旬頃を目途に開催したいと考えております。それ以前に開催の必要が生じた場合やスケジュールについては、正副委員長と協議した上で、皆様には、改めてご通知いたしますので、よろしくお願いいたします。

続いて2点目です。今回の審議会の議事録ですが、少しお時間をいただいて、事務局において議事録を作成し、公表前に、正副委員長に加え、ご発言いただいた委員にメール等で送付しご確認をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

最後に、3点目でございます。本会議が開催される度に発行しております「小学校再編だより」ですが、今回は、校章(案)が決まりましたので、本委員会から市教委への報告のあと、本

日の会議の様子を含め、更に、第1期の合同生活授業の様子を含めて8月下旬を目標に、第5号として発行したいと考えております。こちらについては、正副委員長と関係する正副部会長に内容の確認をいただくこととなりますので、その際は、ご協力をよろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

7 閉会 （松下副委員長）

冒頭、酒井委員長からお話がありましたが、昨日から両地区公民館主催の「自磨の時間」が始まりました。今日は、21名の児童が参加して、和気あいあいとしている様子もあり、大騒ぎして遊んでいる姿もありました。7月には合同生活授業もあり、今後も合同生活授業の予定もあり、また、春休みにも「自磨の時間」を予定していますが、徐々に両校の児童が一緒になって、融合していくのであらうと思いますし、そう願っているところです。そして、来年4月には遠山小学校として、両地区のこどもたちが通うこととなりますので、一つになって賑やかにやっていっていただけたら嬉しいと思います。私どもの新しい母校となるわけですので、さらにサポートしていければと思います。

本日もご協議いただきありがとうございました。それでは以上で、第5回遠山郷学園小学校再編検討委員会全体会議を終わりとします。皆さん、お気を付けてお帰りください。